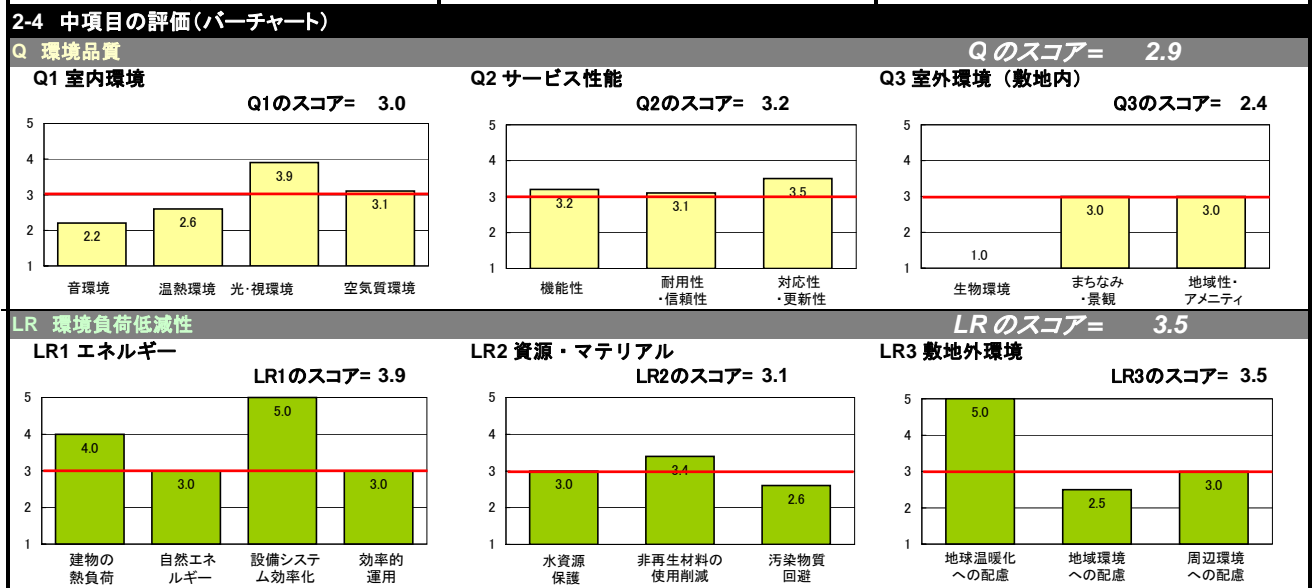
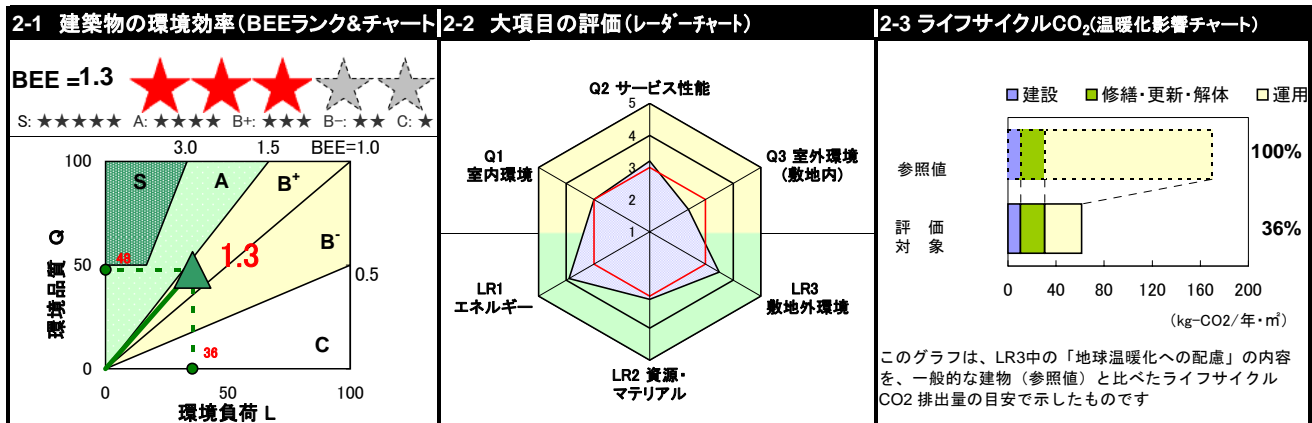


CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	東舞鶴病院・介護老人保健施設	階数	地上6F
建設地	京都府舞鶴市	構造	S造
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員	405 人
気候区分	地域区分Ⅲ	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年1月 予定	評価の実施日	2010年12月7日
敷地面積	13,223 m ²	作成者	神先誠司
建築面積	4,318 m ²	確認日	
延床面積	14,462 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項

総合	その他
<ul style="list-style-type: none"> 環境負荷の低減や自然との共生を考慮した施設とし、環境や省エネルギーに配慮する。 防犯に十分な配慮を行うと共に、安全に利用できるユニバーサルデザインとする。 断熱、夏季に日射遮蔽、通風の確保などにより、一年を通じて過ごしやすい生活環境を抄出する。 	0
Q1 室内環境 ・採光を十分に確保できる開口部を設ける一方、庇等でグレアを制御する。 ・化学汚染物質に配慮した材料選定とする。	Q3 室外環境(敷地内) ・可能な限り敷地内の緑化を図る。
LR1 エネルギー ・可能な限り高効率機器・器具を採用し省エネルギー化を図る。	LR3 敷地外環境 ・駐輪場及び駐車場を十分確保する。
Q2 サービス性能 ・ラーメン構造により空間形成の自由度を確保し、間仕切り変更等に対応できるようにする。	
LR2 資源・マテリアル ・節水へ積極的に取り組む。 ・躯体、仕上材、設備の解体が容易に行える。 ・汚染物質含有材料を使用しない。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい